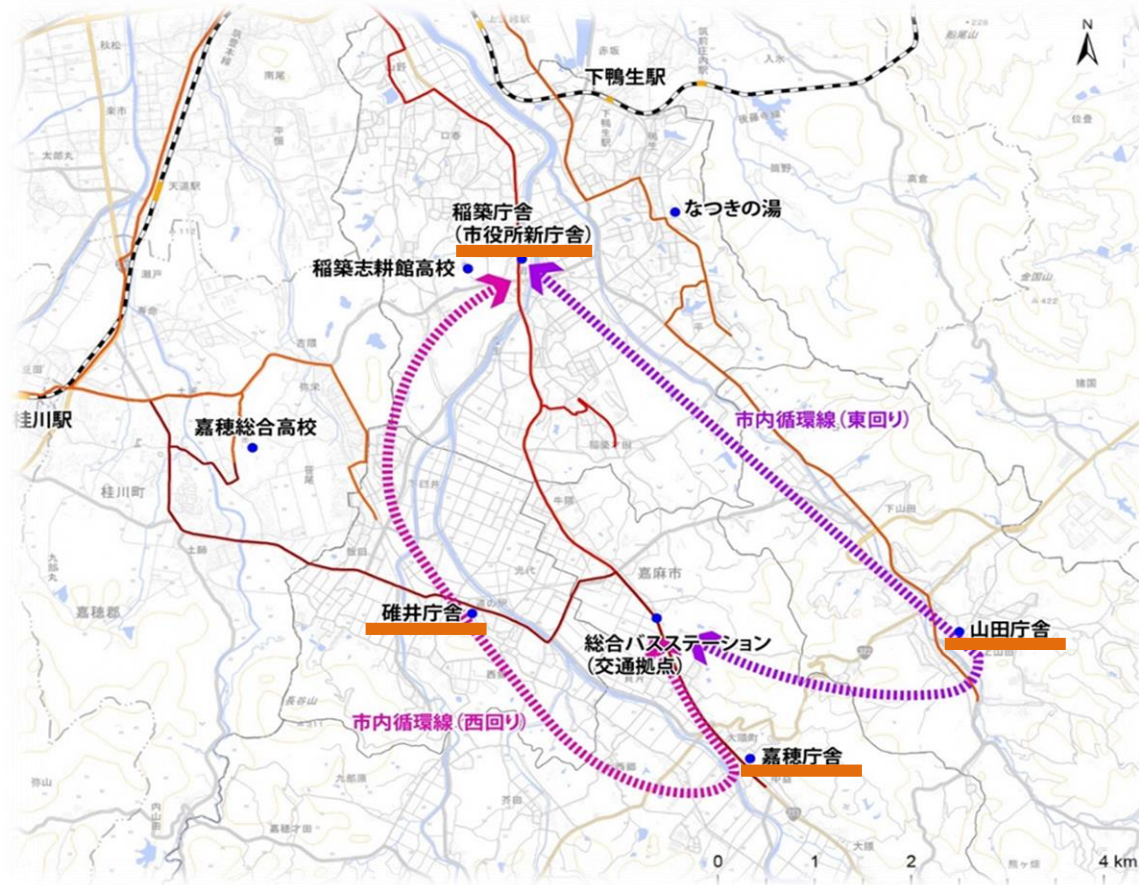


新庁舎整備に伴う 公共交通対策の考え方について

平成30年12月11日 嘉麻市新庁舎建設設置本部会議
(事務局:嘉麻市 地域活性推進課)

1 市内循環線について



【路線の概要】

「庁舎課題に関する基本計画」において、各庁舎を結ぶ公共交通ネットワークの構築として「循環バス」として定義した路線の構築。各支所を經由し、新庁舎へ運行する路線。

運行開始：平成32年4月

※ 現在、詳細な路線及びダイヤ等の整理を実施

運行便数：6時～20時の間

1時間に1本程度運行予定

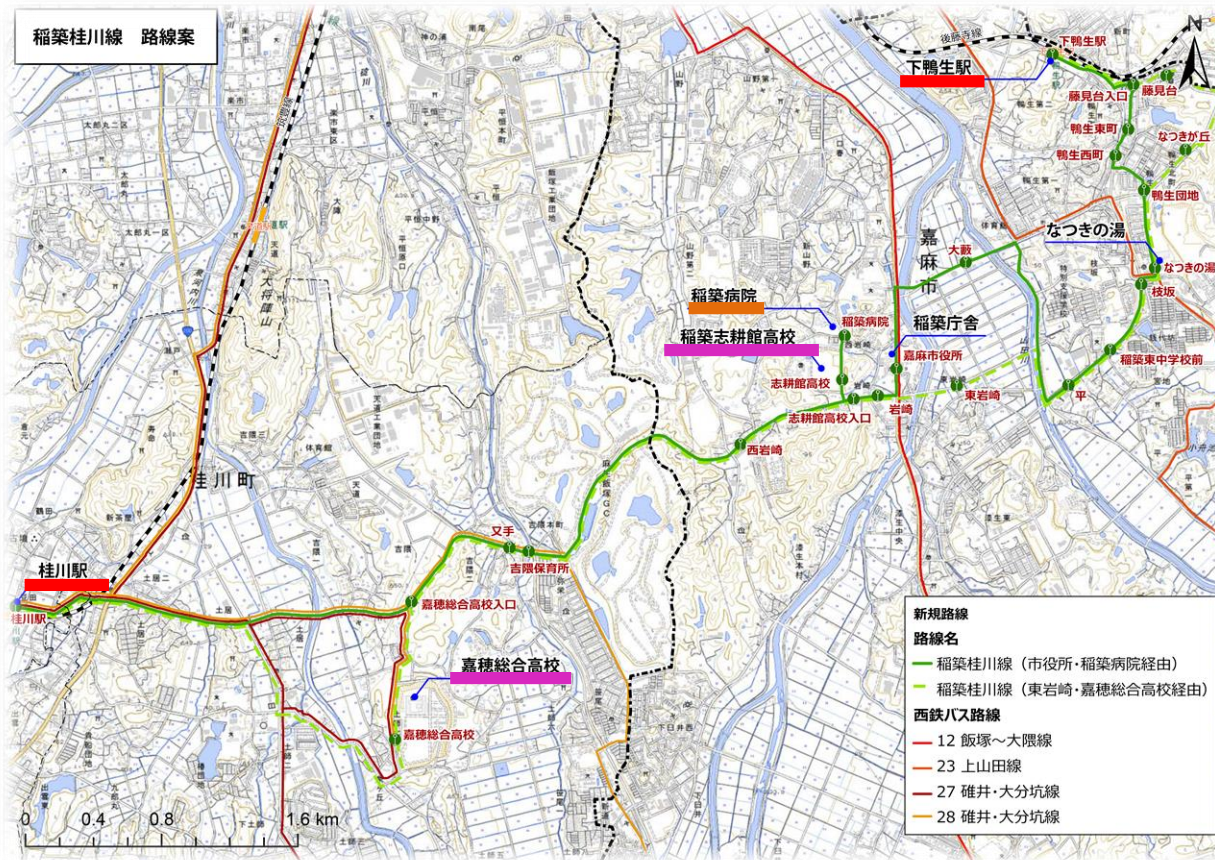
起 点：総合バスステーション
終 点：新庁舎

利用見込：通勤、通学、通院、
買い物、庁舎利用

【路線の特徴】

- 路線延長が長くなるため、西回りと東周りの2系統に分割
- 西回りは嘉穂庁舎、碓井庁舎を經由し、新庁舎へ乗入れ
- 東周りは嘉穂庁舎、山田庁舎を經由し、新庁舎へ乗入れ
- 庁舎間の移動のみならず、周辺の商業施設、病院、学校等を經由し、日常生活における嘉麻市内の移動手段の根幹となる路線を構築

2 新路線（稲築桂川線）について



【路線の概要】

交通の空白地となっていた稲築から桂川方面に運行する路線を新設。JRの駅を結び、沿線にある病院、商業施設、学校等を経由し運行する路線

運行開始：平成31年4月

※ 現在、運行事業者による路線許可申請手続き中(国交省)

運行便数：6時～21時の間
11往復22便

起点：下鴨生駅 終点：桂川駅

利用見込：通勤、通学、通院、
買い物

【路線の特徴】

- JRの「桂川駅」と「下鴨生駅」へ結び、福岡・飯塚・田川方面への移動手段の構築
- 稲築地区に点在する商業施設を経由することで買い物における利便性を向上
- 稲築病院への車両乗入れや沿線の病院を経由し、通院に係る移動手段の確保
- 当該路線の最大の特徴である稲築志耕館高校及び嘉穂総合高校の2校を経由しこれまでの要望に対応
- 新庁舎開庁後は、新庁舎玄関口までの車両乗入れを実施